

事業名	【継続】 豊後高田市・島原市兄弟校児童会交流事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
100万0					100万0
事業期間	平成11年度～ (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

豊後高田市・島原市の兄弟都市の契りを更に深め、両市小学生の活力を生む豊かな児童会交流を継続的に行い、21世紀の郷土を担う青少年の育成を目指します。

【主催】

豊後高田市・豊後高田市教育委員会 島原市・島原市教育委員会

【事業概要】

- (1) 期間 平成31年8月8日(木)～10日(土)2泊3日
 ※島原市立小学校登校日 8月9日(金)を中心に交流を行います。

(2) 活動

- ① 豊後高田市訪問団歓迎行事及び交流会
- ② 各兄弟校・交流校児童交流
- ③ 島原市内施設等見学
- ④ 兄弟校交流事業50周年記念和蠟燭絵付け体験
- ⑤ 兄弟校交流事業50周年記念歓迎演奏



【参加者】

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 豊後高田市からの訪問児童 | 計30人 |
| (2) PTA代表 | 2人 |
| (3) 引率者 豊後高田市教育長(団長) | 1人 |
| 教育委員会職員 | 5人 |
| 教職員(校長) | 11人 |
| (教諭・養護教諭1名を含む) | 11人 |
| | 計60人 |

【島原市・豊後高田市兄弟校・交流校一覧】

	島原市	豊後高田市
兄弟校	第一小学校	桂陽(けいよう)小学校
	第二小学校	高田(たかだ)小学校
	第三小学校	河内(かわち)小学校
	第四小学校	戴星(たいせい)学園
	第五小学校	田染(たしぶ)小学校
	三会小学校	草地(くさじ)小学校
	三会小学校	呉崎(くれさき)小学校

交流校	大三東小学校	真玉(またま)小学校
	大三東小学校	白野(うすの)小学校
	高野小学校	三浦(みうら)小学校
	湯江小学校	香々地(かかち)小学校

【成果】2年に1度互いの市を訪問することで、兄弟都市について知ることができ、それぞれの郷土の伝統、風習を知ることができています。また訪問校で全校集会に参加し兄弟校児童との交流が図られています。さらに滞在期間中は、ホームステイをすることになっており、児童同士また保護者間の交流・関係が深まっています。

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小中学校学力向上対策事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
557万2				557万2	
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒の学力の検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。定着が不十分な学習内容につきましては、学習問題配信サービスを用いて補充をし、確かな学力を身に付けることを目指します。

併せて、小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。

なお、学術面における市独自の賞を創設することにより、児童生徒の学力向上の推進・学習意欲の向上を図ります。

また、学力向上への取組について成果を上げている先進地を視察し、本市の施策の見直しをし、改善を図るとともに、講師を招聘し教職員を対象に教育講演会を実施します。

さらに、大学教授を招き、研修会や授業研究を実施し、指導力の向上を目指します。

【事業概要】

学力の定着状況の
把握・指導の改善

児童・生徒の
学力向上の推進
・学習意欲の向上

指導力の向上

① 本市独自の学力調査の実施

- ・検証軸として学力調査を設けます。
 - (1) 対象：小学2・3・4年生、中学1年生
教科：国語、算数（数学） 実施期間：平成30年度1学期
 - (2) 対象：中学校1・2年生
教科：国語、数学、英語 実施期間：平成30年度3学期

② 市内小中学校学習問題配信サービス

- (1) 対象・教科：小学1年～6年生・国語、算数、理科、社会
中学1年～3年生・国語、数学、英語

③ ユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプ

- ・小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。

④ 稽古館奨励賞

- (1) 対象：小6年 10名 中1・2・3年 各10名 計40名
- (2) 交付基準：市・県・全国学力調査の結果による学業及び文化・ボランティア活動で優秀であり、品行方正 出席状況 生徒会活動等他の模範となる児童生徒

⑤ 教育講演会

- ・教育実践研究家を講師に招き、教員を対象に講演会を実施。

⑥ 学力向上に向けた取組の先進地への視察

- ・秋田県へ1名（指導主事）、小・中教員8名（県費）

⑦ 大学等と連携した指導力向上事業

- ・大学教授を講師や指導助言者として招き、研修会や授業研究を実施。

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1・中2 教科 国語・算数（数学）・英語			①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1・中2 教科 国語・算数（数学）・英語		引き続き実施予定
	②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語			②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語		

事業名	【継続】 外国語指導助手招致事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,075万8					3,075万8
事業期間	平成6年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。

【事業概要】

《配置人数》 7人（全小・中学校対象）

《配置校》 一中、二中、三中、三会中、有明中、一小、大三東小

《訪問校》 二小、三小、四小、五小、三会小、三会小長貫分校、高野小、湯江小

外国語指導助手(A L T)を2人増員することで、小学1年生から中学3年生のすべての学級において、A L Tを活用した英語教育を行います。

《活動内容》

①授業における支援

- ・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。
- ・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働きかけ、実践力を身に付けさせます。

②授業内容の計画作成における連携

- ・教科担任等からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にした効果的な指導につなげます。

③教材研究

- ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。

【成果】

①全小・中学校を訪問し、授業で活用しています。
活用状況（平成30年9月）
1日平均 3.8時間

②中学校の定期テストにおけるリスニングテストで活用しています。

③学校の掲示板にA L Tのコーナーを設け、外国の文化の紹介等を行うことによって、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるのに役立っています。



科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 中学生海外訪問交流事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
405万5				231万9	173万6
事業期間	平成6年度～			総事業費	

【事業目的】

中学3年生を対象とし、夏季休業中に香港を訪問します。現地で活躍する日本企業の視察、中学生との交流活動、現地ジオパークの見学を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指します。

【事業概要】

- 事業主体 島原市
- 交流国 香港
- 対象学年 市内中学校3年生
- 人数 15人
- 交流日数 4泊5日
- 事業活動内容
 - ①キャリア教育の一環として現地で活躍する日本企業の視察及び意見交換
 - ②香港ジオパーク見学及び現地学生との交流・意見交換
 - ③香港大学学生との交流
 - ④香港市内見学

【財源内訳】

- ①参加者負担金 3万円×15人＝ 45万0千円
- ②国際交流事業補助金（長崎県市町振興協会より）186万9千円
- ①②合計 231万9千円



(訪問交流の様子)



(訪問交流の様子)

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
273P

事業名	【継続】 不登校児童生徒適応指導事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
234万0					234万0
事業期間	平成8年度～			総事業費	

【事業目的】

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

【事業概要】

〔要因・背景〕

「不安など情緒的混乱」「無気力」の割合が多いと言われていましたが、いずれの理由が主であるか決めがたい複合の割合が最近多く、要因・背景の複合化や多様化の傾向があります。そういう中、上記事業目的を持って設置してある本市適応指導教室は、多様なニーズに対応できる機関の一つとしてその存在価値は大きいものになっています。

〔対策〕 ※平成30年10月現在の状況
島原市適応指導教室
【ひまわり教室】 (本市事業)

- ・相談員：2人
- ・通級者：小学生2人、中学生1人
- ・仮通級者：小学生0人、中学生3人



1週間の生活(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30	通級時間				
9:40	朝の活動				
10:00	朝の会				
10:50	ひまわり タイム	学習タイム			
11:00	休み時間				
11:50	学習タイム			自由タイム 軽スポーツ	ひまわり タイム
13:00	昼食・昼休み				
13:30	通室報告・読書タイム				
14:30	軽スポーツ	チャレンジ 登校	陶芸教室	ALT 茶道教室	チャレンジ 登校
15:30	清掃・帰りの会				
	帰宅				

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
281P、289P

事業名	【継続】 学校司書配置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
992万8					992万8
事業期間	平成16年度～			総事業費	
【事業目的】 読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができないものです。 そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。					
【事業概要】					
配置人数	14人 (全小・中学校)				
勤務	週3日 (年間) 123日程度				
勤務時間	1日6時間				
活動内容	① 経営的活動 ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計 ・図書ボランティアとの連携 ② 技術的活動 ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理 ③ 奉仕的活動 ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施 ・図書相談、学習資料の提供、広報活動 ④ 教育的活動 ・図書委員や図書館使用学級への援助 ・司書教諭や担任との連携				
【成果】					
図書貸出冊数 (年間1人平均) の推移					(単位：冊)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	130.1	160.7	160.7	170.4	173.6
中学校	13.1	16.4	20.1	21	23.8
科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費
事業計画	前年度まで			今年度	
	上記事業を実施			上記事業を実施	
				学校教育課	
				来年度以降	
				引き続き実施予定	

事業名	【継続】 学習支援員配置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
1,421万0		286万3			1,134万7
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

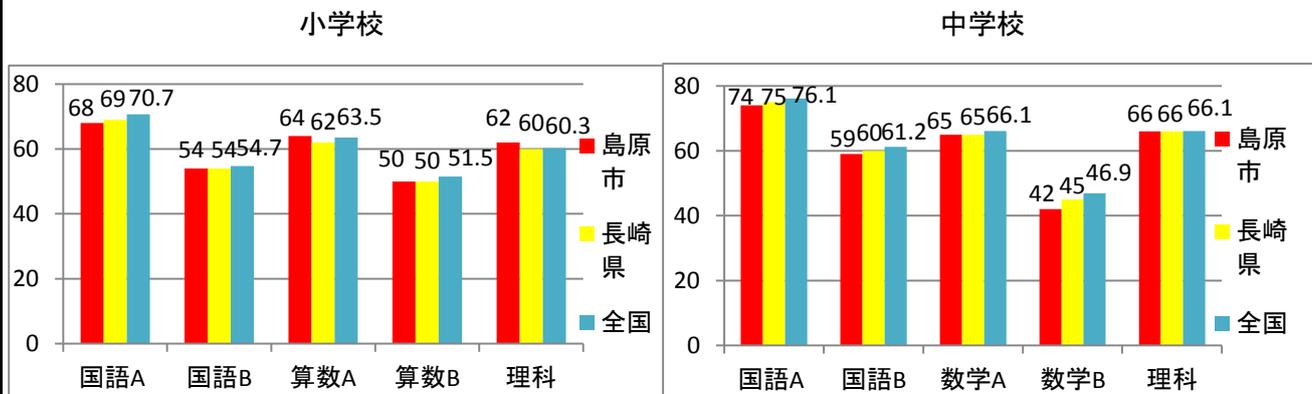
小・中学校において児童生徒の学力向上のために、学級担任及び教科担任等の補助として授業に入り、学習活動上のサポートを行います。
 また、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助を行います。さらに、発達障害の児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行ったりする「学習支援員」を配置し、障害等に応じた適切な教育を実施します。

【事業概要】

- 配置人数 20人 (全小・中学校)
- 勤務 週5日 年間175日
- 勤務時間 1日5時間
- 活動内容
 - ①児童生徒の学習活動の補助
 - ②基本的な生活習慣確立のための日常生活の介助
 - ③発達障害の児童生徒に対する学習支援
 - ④学習活動、教室間移動等における介助
 - ⑤児童生徒の健康・安全確保関係
 - ⑥運動会、学習発表会、校外活動等の学校行事における介助
 - ⑦周囲の児童生徒の理解促進
 - ⑧支援方法等の打ち合わせ
 - ⑨その他校長が指示する事項

【成果】 (平成30年度全国学力・学習状況調査の結果から)

- 小学校算数Aが5年連続で全国平均を超え、理科が全国平均を上回りました。
- 中学校国語Aが全国平均を下回ったものの、その差は縮まっています。



科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
281P

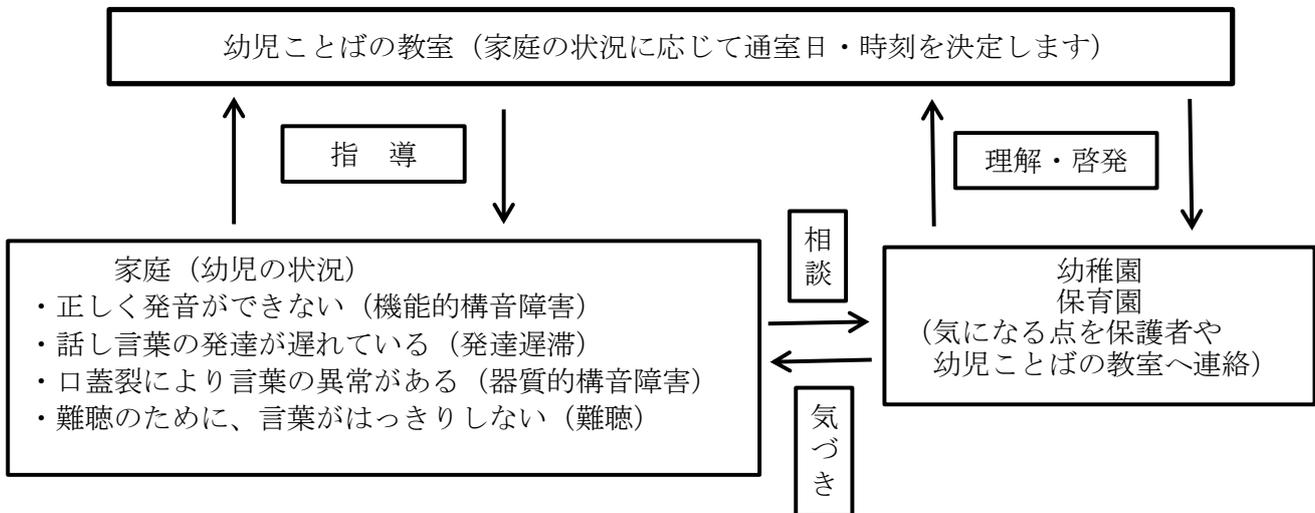
事業名	【継続】 幼児ことばの教室設置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
94万6					94万6
事業期間	平成11年度～			総事業費	

【事業目的】

言葉に課題のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、課題の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

【事業概要】

設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内）
 開設日時 週4日（火曜～金曜）
 勤務時間 1日4時間
 活動内容 指導員1人配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



【成果】

	平成28年度	平成29年度
教育相談	26件	31件
入室児	32人	24人
退室児	29人	17人

科目	10款	2項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小・中学校 ICT 推進事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2億5,823万1				2億4,100万0	1,723万1
事業期間	平成28年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

新学習指導要領の全面実施（小学校2020年度・中学校2021年度）に伴い、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力と位置付けられ、小学校では文字入力など基本的な操作の習得、プログラミング的思考の育成が、中学校ではプログラミング、情報セキュリティに関する内容の充実が求められることとなります。こうした状況を踏まえ「第2期島原市教育振興計画」及び「島原市学校ICT環境整備計画」に沿って、学校ICT環境の整備充実を図ります。

平成31年度では、ハード整備として平成29年度以降3か年計画で取り組んでいる校務用パソコンの更新に併せて、教育用パソコン（教室用・パソコン室用）の更新を図ります。また、ソフト整備として地域人材の活用と育成を見据えて、教員・児童生徒への操作説明や授業支援を目的にICT支援員（1人）を配置します。

【事業概要】

①校務用パソコン購入費：1,296万円
(単位：台)

	H29	H30	H31	合計
小学校	30	60	70	160
中学校	20	40	30	90
計	50	100	100	250



②教育用パソコン購入費：2億4,326万8千円

※授業支援ソフト更新、既存パソコンの撤去費等含む

(単位：台)

	普通教室用	パソコン室用	計
小学校	118	354	472
中学校	49	205	254
計	167	559	726



③ICT支援員配置費：200万3千円

<主な業務内容>

(授業支援) 教員・児童生徒へのICT機器の操作説明等授業の支援

(研修会) ICT機器の操作方法や情報モラルに関する研修会の開催

(教材作成支援) 機器の効果的な活用方法を教員へ助言するなど教材作成の支援

(校務支援) 校務に使用する機器の調整・保守等の支援

科目	10 款	2.3 項	2 目	目名称	教育振興費	教育総務課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	パソコン室用パソコン更新 (H23～H25) 実物投映機配備 (H28, H29) 校務用パソコン更新 (H29～)			上記のとおり		ICT支援員配置 デジタル教科書・電子黒板・ 統合型校務支援システム等の 導入検討

事業名	【継続】 小・中学校就学援助事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
5,093万7	3万2				5,090万5
事業期間				総事業費	

【事業目的】

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度により支援を行うことで、健康で学びに専念できる環境(学校、家庭)を充実させ、将来を担う子どもたちの健全な「人づくり」を目指します。

【事業概要】

援助の内容と積算明細

区分	費目	単価(円)	人数	金額(千円)	
小学校	(新入学用品費) 学用品費	1年	50,600	72	364万3
		1年	11,520	59	68万0
		2-6年	13,770	283	389万7
	修学旅行費	6年	21,670	55	119万2
	校外活動費	5年	実費	67	21万3
	社会科見学活動費	4年	実費	57	13万7
	医療費		実費	223	116万0
	学校給食費		実費	342	1,600万6
	通学費		実費	2	12万0
	小学校 計				2,704万8
中学校	(新入学用品費) 学用品費	1年	57,400	68	390万3
		1年	22,510	60	135万1
		2-3年	24,760	130	321万9
	修学旅行費	2年	60,300	69	416万1
	校外活動費	1年	実費	60	17万4
	医療費		実費	124	81万3
	学校給食費		実費	190	1,026万8
中学校 計				2,388万9	
全体 合計				5,093万7	

※修学旅行費単価については、上限額を記載

認定者数及び認定率の推移

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
認定者数	小学校	310人	316人	337人	337人
	中学校	208人	208人	192人	189人
	合計	518人	524人	529人	526人
認定率	小学校	13.3%	13.9%	14.6%	14.6%
	中学校	16.2%	16.3%	17.0%	16.7%
	合計	14.3%	14.8%	15.4%	15.3%

※認定者数及び認定率については、各年度末の数値(ただし平成30年度は、平成30年10月現在)

科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 小・中学校施設整備事業																												
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)																												
	国費	県費	地方債	その他	一般財源																								
1億1,250万0			8,840万0		2,410万0																								
事業期間	継続 (複数年度事業)			総事業費																									
【事業目的】																													
<p>学校施設は、将来を担う児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たす極めて重要な施設であることから、修繕・工事など適切な営繕管理を行い施設の安全性と機能性の確保を図ります。</p>																													
【事業概要】																													
<p>各小中学校において現場調査のうえ、危険性・緊急性等を勘案して下記予算の範囲内で適切な営繕管理を行います。</p> <p>平成31年度の主な事業内容は、市内全小中学校への防犯カメラ設置、第五小学校の屋外トイレ改修、三会小学校新校舎の屋上防水改修、第二中学校キュービクルの更新、三会中学校体育館の白蟻駆除及び床張替工事、有明中学校の浄化槽改修工事などです。</p>																													
<p>《修繕・工事の内訳》</p> <table border="0"> <tr> <td>○ 小学校</td> <td></td> <td>○ 中学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 修繕料</td> <td>800万円</td> <td>・ 修繕料</td> <td>400万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 工事請負費</td> <td>6,700万円</td> <td>・ 工事請負費</td> <td>3,350万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,500万円</td> <td>合計</td> <td>3,750万円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						○ 小学校		○ 中学校				・ 修繕料	800万円	・ 修繕料	400万円			・ 工事請負費	6,700万円	・ 工事請負費	3,350万円			合計	7,500万円	合計	3,750万円		
○ 小学校		○ 中学校																											
・ 修繕料	800万円	・ 修繕料	400万円																										
・ 工事請負費	6,700万円	・ 工事請負費	3,350万円																										
合計	7,500万円	合計	3,750万円																										
<p>《主な工事の概要》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事名称</th> <th>工事概要</th> <th>概算工事費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>第五小学校 屋外トイレ改修工事</td> <td>老朽化が激しく現在、男女共用となっている既存屋外トイレの改修</td> <td>2,200万円</td> </tr> <tr> <td>三会小学校 新校舎屋上防水改修工事</td> <td>老朽化により雨漏りが発生している新校舎の屋上防水工事</td> <td>1,400万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>第二中学校 キュービクル更新工事</td> <td>耐用年数が超過しているキュービクルの更新</td> <td>1,800万円</td> </tr> <tr> <td>有明中学校 浄化槽改修工事</td> <td>老朽化によりエア漏れが発生している浄化槽エア配管の改修</td> <td>130万円</td> </tr> </tbody> </table>						工事名称		工事概要	概算工事費	小学校	第五小学校 屋外トイレ改修工事	老朽化が激しく現在、男女共用となっている既存屋外トイレの改修	2,200万円	三会小学校 新校舎屋上防水改修工事	老朽化により雨漏りが発生している新校舎の屋上防水工事	1,400万円	中学校	第二中学校 キュービクル更新工事	耐用年数が超過しているキュービクルの更新	1,800万円	有明中学校 浄化槽改修工事	老朽化によりエア漏れが発生している浄化槽エア配管の改修	130万円						
工事名称		工事概要	概算工事費																										
小学校	第五小学校 屋外トイレ改修工事	老朽化が激しく現在、男女共用となっている既存屋外トイレの改修	2,200万円																										
	三会小学校 新校舎屋上防水改修工事	老朽化により雨漏りが発生している新校舎の屋上防水工事	1,400万円																										
中学校	第二中学校 キュービクル更新工事	耐用年数が超過しているキュービクルの更新	1,800万円																										
	有明中学校 浄化槽改修工事	老朽化によりエア漏れが発生している浄化槽エア配管の改修	130万円																										
科目	10款	2・3項	3目	目名称	学校整備費	教育総務課																							
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降																							
	施設整備を計画的に実施			施設整備を計画的に実施		引き続き計画的に実施																							

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 小・中学校降灰防除事業（エアコン更新）				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地方債	その他	一般財源
1億1,303万2	7,546万6		3,560万0		196万6
事業期間	平成28年度～ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

猛暑による児童生徒への健康被害を踏まえ、熱中症対策として老朽化している既存空調設備の更新を図ります。

本市学校施設の空調設備は、雲仙普賢岳噴火時に設置したものがほとんどで、設置後25年以上が経過しており、老朽化により不具合が生じているものが増加しています。また、機材が古くすでに交換用の部品が製造されていないため、修理も出来ない状況となっています。こうしたことから、今後国庫補助制度を活用しながら計画的に更新を進めていく予定であり、平成31年度では下記のとおり小中学校2校の設備更新を図ります。

【事業概要】

- ・第二小学校 普通教室、特別教室等の空調機74基の更新
- ・三会中学校 普通教室、特別教室等の空調機47基の更新

【事業内訳】

○ 第二小学校 (単位：千円)

・ 技術員賃金	40万5
・ 技術員社会保険料	6万9
・ 設計委託料	298万8
・ 工事請負費	6,500万0
合計	6,846万2



○ 三会中学校

・ 技術員賃金	40万5
・ 技術員社会保険料	6万9
・ 設計委託料	209万6
・ 工事請負費	4,200万0
合計	4,457万0



【特定財源】

- (単位：千円)
- ・ 国の交付金 7,546万6
(対象事業費の3分の2補助)

科目	10 款 2・3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度	来年度以降
	【設計・工事】 第三中学校			【設計・工事】 第二小学校 三会中学校	【設計・工事】 個別施設計画に基づき、非構造部材耐震化事業と併行して実施

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
P289

事業名	【継続】 心の教室相談員配置事業					
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)	
	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
377万8					377万8	
事業期間	平成10年度～			総事業費		
【事業目的】 中学校において、生徒が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供するため、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。						
【事業概要】 《事業主体》 島原市 《事業概要》 配置人数5人（全中学校に各1人） 勤務時間 3校 週4日 1日5時間（第一・第二・有明中学校） 2校 週2日 1日4時間（第三・三会中学校） 活動内容①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。 また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。 不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。 ②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。 ③その他、学校の教育活動の支援を行います。						
【成果】 より多くの子どもたちの悩みに対応できたかどうかは、重要な相談員としての成果指標です。そのため、相談数を成果の目標としてあげております。 [相談件数]・・・582件（H30年7月末現在） [内容]・・・いじめ、不登校、友人関係、異性関係、家族問題、健康、子育て、非行、学習・進路、教師との関係等です。						
科目	10款	3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 姉妹都市等交流事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
156万9					156万9
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

中学生を対象とし、夏季休業中に災害時における相互応援協定を締結した静岡県小山町を訪問します。小山町と姉妹町の岡山県勝央町、観光友好都市の京都府福知山市、災害時相互応援協定都市の茨城県北茨城市及び兵庫県三木市と一同に会して交流を深めることを目的に、富士登山をはじめ、世界文化遺産富士山を理解する機会を持ち、将来に渡る絆づくりや、心身ともにたくましい人材の育成を目指します。

【事業概要】

- 事業主体 島原市
- 交流地 静岡県小山町
- 事業主体 島原市
- 対象学年 市内中学生
- 人数 10人
- 交流日数 2泊3日
- 事活動内容 ①富士登山
②世界文化遺産富士山に係る資料館見学
③他県中学生との交流



科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	市内中学生10人が静岡県小山町を訪問し、富士登山や世界文化遺産富士山に係る資料館見学を行い、他県中学生と交流を図った。			上記事業を実施		

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
301P

事業名	【継続】 地域おこし協力隊文化財活用事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
800万0					800万0
事業期間	平成30年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	3,000万0

【事業目的】

地域おこし協力隊の制度を活用し、埋蔵文化財の啓発や、古文書の解説、古文書資料等の漫画化を行い、島原の歴史を広く市民へ発信し、島原の歴史に対する理解と関心を高めます。

【事業概要】

- 地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献します。
- 古文書の解説、古文書資料の漫画化、埋蔵文化財啓発などを行う者を引き続き2人雇用します。
- 総務省による支援・財政支援（特別交付税）
 隊員1人につき400万円上限（＝報酬等（上限200万円）+活動費（上限200万円））
 対象経費＝隊員の「活動」に要する経費、隊員の「定住」「起業」「就農」等の支援に要する経費
 自治体1団体あたり200万円上限：募集に係る経費
 隊員の募集や研修、マネジメント等の面で地方自治体をサポート
- 期間概ね1年以上最長3年
 ※3年を超える場合は特別交付税による支援は受けられないが活動継続は可能

【効果】

島原の歴史や魅力を発信することにより、市民の郷土への愛着が育まれるとともに、観光客等の交流人口の増加が見込まれます。
 本市の歴史や文化財を市民に身近に感じてもらいます。

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	古文書解説、古文書資料の漫画化、埋蔵文化財啓発などを行えるものを雇用し、各々の役割で資料や情報を収集し、事業の基礎データの蓄積を行った。			過年度に蓄積した情報を市民にわかりやすく伝えるための情報の整理と発信を行う。		過年度に蓄積した情報を市民にわかりやすく伝えるための情報の整理と発信を行う。

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
303P

事業名	【継続】 島原市所蔵古文書調査事業費				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
260万4	130万2	23万4			106万8
事業期間	平成30年度～平成33年度 (複数年度事業)			総事業費	989万5

【事業目的】

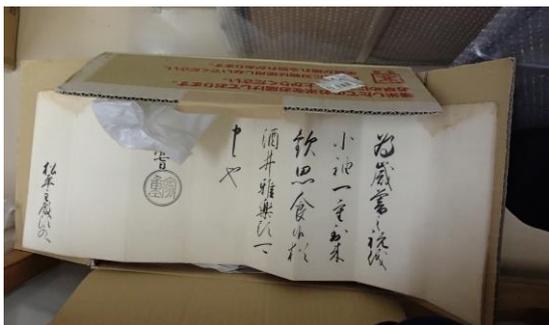
島原藩の歴史や近代島原の歴史についての調査研究を促進するため、肥前島原松平文庫所蔵の古文書のうち、主に市の内外から寄贈を受けた資料を調査・整理し、目録を作成することによって資料の内容を広く周知して研究者に広く情報提供するために、本調査を実施します。

【事業概要】

資料を、旧所蔵先をひとまとまりとして、一点ずつ調査します。調査内容は、表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測、等です。それから調査項目をデータ入力し、目録化を行い、報告書を刊行します。

調査対象資料はおよそ8,000点を見込んでおり、平成30年度から32年度までの3ヶ年は、年間2,500点を目標に資料調査し仮目録を作成します。平成33年度は、残りの資料の調査と仮目録作成を実施し、調査報告書(目録)を刊行する予定です。

(寄贈された資料の当初の状態)



科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 調査指導委員会の設置 資料群の調査順序・方針の策定 資料調査開始 表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測 			<ul style="list-style-type: none"> 調査指導委員会の開催 資料調査 表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査 調査報告書作成

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
305P

事業名	【継続】 放課後子ども教室推進事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
314万4		208万5			105万9
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

子どもの居場所を確保し、安全で安心して子育てができる環境づくりに寄与し、自主学習習慣の育成、地域人材との交流を図るため、夏休みに全地区公民館で「スクールキッズ」を、放課後に学校の施設を利用し全小・中学校で「放課後子ども学習室」を実施します。

【事業概要】

- 「スクールキッズ」…希望する小学生を集め、静かな環境で自学の習慣をつける訓練をします。夏休みの第2週の4日間の午前中
(26年度 2公民館、27年度 4公民館、28年度から 7公民館)
- 「放課後子ども学習室」…放課後1時間に学校の余裕教室を開放し、宿題等の指導を行います。
26年度 1校(小学校)・27年度 10校(9小学校、1中学校)
28年度から 14校(9小学校、5中学校)

【スタッフ】

- 「スクールキッズ」…退職校長会2人(質問部屋配置)、公募の見守指導員1人(自習部屋配置)を各公民館に配置します。
- 「放課後子ども学習室」…見守学習支援員を各校1人以上おきます。

【効果】

学力向上、自学習習慣定着、子どもの居場所づくり、少子化対策



科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度			今年度		来年度以降
	スクールキッズ 7地区公民館			スクールキッズ 7地区公民館		引き続き継続予定
	放課後子ども学習室 9小学校、5中学校			放課後子ども学習室 9小学校、5中学校		

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

事業名	【新規】 文化会館大ホール舞台施設整備工事				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
5,350万0			5,350万0		
事業期間	平成31年度 (単年度事業)			総事業費	

1 島原文化会館大ホール調光操作卓改修工事費 4,200万円

【事業目的】

導入後27年が経過し、老朽化に伴う機器の劣化で舞台演技等に支障をきたしている島原文化会館大ホールの調光操作卓の更新を図ります。

【事業概要等】

故障している機材は、現在、交換用の部品調達ができないため修理できない状況です。また、昨年には突如制御不能となる事態も発生しており設備の更新は急務となっています。

■ 主な故障内容

- ・液晶表示部分の液晶破損
- ・電流計1台の故障
- ・記憶基盤の破損



2 有明文化会館大ホール音響調整卓改修工事費 1,150万円

【事業目的】

導入後19年が経過し、老朽化に伴う機器の劣化で音響調整に支障をきたしている有明文化会館大ホールの音響調整卓の更新を図ります。

【事業概要等】

故障している機材は、現在、交換用の部品調達ができないため修理できない状況です。最近では、ノイズの発生頻度が増えており音響調整卓の更新は急務となっています。

■ 主な故障内容

- ・音量調整機能の不具合
- ・ノイズの混入



科目	10款	4項	4目	目名称	文化会館運営費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	-			上記工事を実施		-

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 フッ化物洗口推進事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
73万5		10万7			62万8
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にあります。また、12歳児の一人当たりのむし歯の本数は長崎県内でも高い順位であることから、集団によるフッ化物洗口を小・中学校で導入し、むし歯予防を定着させ、市内の子どものむし歯の低減を図ることを目的とします。

【事業概要】

実施対象	小学校1～6年生の希望者（全児童が希望した場合、約2,300人） 中学校1～3年生の希望者（全生徒が希望した場合、約1,070人）
実施方法	フッ化物洗口液10mLで、1分間「ぶくぶくうがい」をします。 使用薬剤…ミラノール顆粒11%
実施日時	週1回（年間 小学校42週、中学校28週）
必要物	・薬剤（ミラノール） ・紙コップ ・プッシュボトル ・カゴ
費用	<p><u>薬剤</u> 1人分（1回）のフッ化物洗口水溶液 0.1包（10ml） 1包の値段 約35円 1回にかかる費用（小）約8千円 （中）約4千円 1年間にかかる費用（小）約338千円 （中）約105千円</p> <p><u>紙コップ</u> 1個の値段 約1.5円 年間でかかる費用（小）約145千円 （中）約45千円</p> <p><u>プッシュボトル</u> 年間でかかる費用 約73千円</p> <p><u>カゴ</u> 年間でかかる費用 約29千円</p> <p>消耗品費292千円+薬剤費443千円=735千円</p>

○ [財源] 長崎県フッ化物洗口推進事業補助金

$$515円 \times 1,070人 \times 7 / 12月 \times 1 / 3 = 107,148円$$

$$(基準額) \times (中学生の人数) \times (実施月9月～3月) \times (補助率) = 補助額$$

科目	10款	5項	1目	目名称	保健体育総務費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	全小学校実施			全小学校実施 全中学校（※二学期から）へ 拡充		全小・中学校実施

事業名	【継続】 平成新山 島原学生駅伝				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,792万0					1,792万0
事業期間	平成10年度～			総事業費	

【事業目的】

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大スポーツイベントとして定着させ、平成新山を冠する大会として、選手たちの力強い走りと、島原半島ジオパークはもとより、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めます。

【事業概要】

《経緯》 平成10年度に、1市16町が協力して、「島原・雲仙学生駅伝」として第1回目を開催し、平成20年度からは、島原市1市での開催となり、島原市内一円コースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。男子は平成30年度で21回を数え、女子は平成17年度から開催しており、平成30年度で14回を数えます。

《主体》 平成新山 島原学生駅伝大会 実行委員会

- ①九州学生陸上競技連盟（大会・選手運営及びエントリ―関係・式典催事）
- ②島原市（会場及びコース管理・大会運営）
- ③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会（競技運営）
- ④長崎国際テレビ（報道関係・大会広報）

《期間》 開始：男子：平成10年度～ 女子：平成17年度～
期 日：12月 第1土曜日

《内容》

- ・九州学生駅伝対校選手権大会 7区間 57.80キロ（島原市内コース）
- ・九州学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.85キロ（島原市内コース）



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		上記事業を実施予定

事業名	【継続】 ジュニアスポーツ振興事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
128万0				128万0	
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

本市のジュニアスポーツの充実を図るため、トップレベルの指導者や選手がいる大学との協定に基づき、小中学生を大学に派遣し、講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上に努めます。

【事業概要】

日本体育大学と協定を結び、相互の施設の利用や指導者の派遣などの交流事業を行います。

【例】

- ・ オリンピックの意義・歴史の学習（オリ・パラ教育）
- ・ 近代的な施設による体験学習（意識の高揚）
- ・ 有名な選手や指導者からの実技学習（技術力の向上）
- ・ 学生との交流による社会学習（意識の高揚）
- ・ 専門教授の招聘事業講演（指導者向け、児童・生徒向け講演等）

○リーダーシップ	○協調性
○競技力向上	○スポーツの振興
○社会人基礎力の醸成	



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・ 指導者の招聘事業 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・ 指導者の招聘事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・ 指導者の招聘事業

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
295万0				295万0	
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図ります。

【事業概要】

「夢の教室」公演事業

主催 島原市、公益財団法人日本サッカー協会

対象 島原市内全小学校第5学年

「カリキュラムの内容」

小学校の正規の授業2時間（90分間）を利用して行います。

●【前半】 ゲームの時間（35分）

体育館で、体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームや競争を通じて、目的のために協力すること、相手を思いやる心、フェアプレー精神を、実技の中で気付いてもらう時間です。

①自己紹介（5分）

②サブゲーム（15分）

③メインゲーム&まとめ（15分）

（※夢先生の専門競技をするわけではありません。）

●【後半】 トークの時間（55分）

夢先生の体験談をもとに、児童とともに夢について語り合う時間です。

①夢先生の夢トーク（35分）

②みんなの夢（15分）

③エンディング（5分）



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	市内小学校第5学年 全クラス実施			市内小学校第5学年 全クラス実施		市内小学校第5学年 全クラス実施予定

事業名	【継続】 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
713万6				433万6	280万0
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

東京2020オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプを島原市で行ってもらい、参加国等とのスポーツを通じた相互交流や地域活性化を図るために誘致活動を行います。

【事業概要】

2017年に島原市を視察したスペインレスリング連盟との交流（2018年に高校生レスリング選手を派遣しジュニア交流を実施。）や事前キャンプを検討する国の視察における対応を行います。

スペインレスリング連盟への高校生レスリング選手派遣の様子



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
				上記事業を実施		

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書
327P

事業名	【新規】ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地事業					
当初予算額	財源内訳 (単位: 千円)					
	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1,973万5				500万0	1,473万5	
事業期間	平成31年度～			総事業費		
【事業目的】						
ラグビーワールドカップ2019大会におけるトンガ代表の公認チームキャンプ地として、トンガ代表が試合前の調整を最適な環境の中で行ってもらえるように整備します。また、トンガ対フランス戦がある熊本会場へ市民応援団を募り現地で応援を行います。						
【事業概要】						
ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地として練習場の整備をはじめ受け入れ態勢を整える等、トンガ代表を受け入れるにあたって組織委員会と調整しながら必要となる対応を行います。						
トレーニング機器借上料						
仮設物設置業務委託料 (セキュリティフェンス、撮影台等)						
市民応援団派遣委託料						
会場警備委託料						
PRブース設置に係る消耗品代						
(1) 名称 ラグビーワールドカップ2019(第9回大会)						
(2) 主催 ワールドラグビー						
(3) 開催時期 2019年9月20日(金)～11月2日(土)						
(4) 試合会場 日本全国12会場						
		開催都市	試合会場			
		札幌市	札幌ドーム			
		岩手県・釜石市	釜石鶴住居復興スタジアム (仮称)			
		埼玉県・熊谷市	熊谷ラグビー場			
		東京都	東京スタジアム			
		神奈川県・横浜市	横浜国際総合競技場			
		静岡県	小笠山総合運動公園エコパスタジアム			
		愛知県・豊田市	豊田スタジアム			
		大阪府・東大阪市	東大阪市花園ラグビー場			
		神戸市	神戸市御崎公園球技場			
		福岡県・福岡市	東平尾公園博多の森球技場			
		熊本県・熊本市	熊本県民総合運動公園陸上競技場			
		大分県	大分スポーツ公園総合競技場			
(5) 参加国 20チーム (48試合)						
(6) 特徴 ○アジアで初のラグビーワールドカップ						
○ラグビー伝統国以外で初の大会						
科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
				上記事業を実施		

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

事業名	【新規】 島原市営庭球場人工芝全面張替工事				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4,400万0			4,180万0		220万0
事業期間	平成31年度 (単年度事業)			総事業費	4,400万0

【事業目的】

小中学生から高齢者まで幅広い世代に利用されている市営庭球場については、平成16年に人工芝を設置し、これまで補修が必要な箇所は、部分補修で対応してきましたが、経年劣化が進み部分補修では補えなくなっていることから、島原市営総合運動公園庭球場の6面及び島原市営霊丘公園庭球場2面について、人工芝を全面張り替える工事を実施します。

【事業概要】

島原市営総合運動公園庭球場の6面 1,420㎡ (2コート) ×3面=4,260㎡

島原市営霊丘公園庭球場2面 2面合計 1,258㎡

旧人工芝の剥ぎ取り・下地修正・砂入り人工芝敷設を実施

総合運動公園庭球場



霊丘公園庭球場



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
				上記事業を実施		

事業名	【継続】 学校給食会運営経費				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1億2,616万5					1億2,616万5
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【1】 設立目的

学校給食の円滑な実施と運営を図り、児童生徒の健全な心身の発達と豊かな食生活を実現するとともに、学校給食を通じた食育の推進と地産地消の推進及び、広く市民の健全な食生活の実現に寄与することを目的とします。

平成30年4月1日設立

基本財産 3百万円

設立者 島原市長 古川 隆三郎

理事定数 3人以上10人以内

監事定数 1人以上 3人以内

評議員定数 3人以上 7人以内



(学教給食調理の様子)

【2】 受託事業

- (1) 学校給食費の徴収に関すること
- (2) 学校給食用物資の調達及び供給に関する事業
- (3) 学校給食の調理に関する事業
- (4) 学校給食用物資の安全性の確保に関する事業
- (5) 学校給食の実施上必要な講習会、研究会に関すること
- (6) 学校給食を通じた食育の推進に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業



(学校給食)

【3】 運営経費

運営に要する経費は、島原市から補助金、委託料として交付します。

(平成31年度)

運営費補助金 1,657万3千円

学校給食業務委託料 1億959万2千円

(合計) 1億2,616万5千円

【4】 職員

事務局 4人

学校給食調理場 31人 (※他臨時調理員2人、代替調理員8人)

(合計) 35人

科目	10款	5項	3目	目名称	学校給食費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度	来年度以降	
	上記事業を実施			上記事業を実施	引き続き実施予定	